

# 除染作業と地元経済復興

大西康夫、Yasuo Onishi Consulting, LLC: ワシントン州率大学

- 原発事故処理は多額で長期にわたる
- 除染作業決定への積極的な地元参加は非常に重要
  - ● 除染度合いと時期
  - ● 将来の土地利用
  - ● 将来の地元産業の開発
- 政府と修復運営者は公衆の信頼を得ていなければならない
  - 公衆の信頼醸成には時間がかかる
  - 信頼はきわめてもろいものである
- 地元が積極的に除染決定と復興に参加し、
  - **自分の運命は自分で決める**
- 地元が強い産業を基礎として地元経済の多様化
  - ◆ 環境除染、廃炉と農業を基礎した新産業
    - 既存産業の拡大
    - 地元新規事業の発生
    - 外部ビジネスの地元への勧誘
- コミュニティーの知識ベースの確立と拡張
  - ◆ 総合研究所の設定
  - ◆ 研究・教育大学設立・拡大

# 環境・経済修復を成功させる為の前提条件

- 環境・経済修復に関する意思決定に地元が積極的に参加する
- タイムリーに科学的情報と評価を住民に提出するのが出発点。しかし科学的報だけでは修復処置を公衆に納得させられない
- 国民は信頼できると思う人の話を聞く
- 政府と修復運営者は公衆の信頼を得ていなければならない
- 修復運営者は誠実で気ずかいがあり、信頼と信用を得るだけの思いやりがなければならない
  - ◆ 適時に情報を提供
  - ◆ 悪い情報を隠さない
- 公衆の信頼醸成には時間がかかる
- 信頼
  - ◆ きわめてもろいものである
  - ◆ ほんの少しの不正行為でも信頼が壊れる
- 除染プロセスを住民と正確にコミュニケーションするには仲裁役が必要である。

# 経済推進のアプローチ

- 地元の2つの顔  
テクニカル コミュニティ、農産業
- 主要組織
  - ・ コントラクター
  - ・ 総合研究所
  - ・ 大学
  - ・ 農業(農家、農業会社、食品加工会社)
  - ・ 地元経済促進コーディネーター
- 除染産業と農業を基礎とした多様化  
(総合研究機関が柱)
  - ・ 既存産業の拡大  
原子力, 環境除染, 医学、科学・知識産業,  
農業
  - ・ 地元新規事業の発生  
エネルギー, 環境除染, 科学・知識産業、農業
  - ・ 外部ビジネスの地元への勧誘  
農品加工、酪農  
(地元が農地)

